

医療機器の紹介

令和7年8月からX線テレビ装置が新しくなりました

X線テレビ装置とは、レントゲン写真のような静止画像だけではなく、透視画像を動画でリアルタイムにテレビモニターに表示し観察できる装置です。造影剤を使い胃や腸、血管などを映し出したり、体内への医療器具挿入・抜去時に透視画像で観察したりしながら安全で確実に処置を行うための重要な役割を担っています。

当院のX線テレビ装置がどのような検査・治療に使われているのかご紹介いたします。

▼胃透視検査

バリウムを飲んで胃の形や動きを観察します。さまざまな体位で胃の中のバリウムを動かし観察撮影をします。

▼骨折・脱臼の整復

骨折・脱臼した骨の透視画像を見ながら元の位置に戻す処置です。

▼異物除去

ケガなどで体内に入った異物（ガラス・金属など）を透視で観察しながら取り除きます。

▼内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）

内視鏡を使い胆管や膵管の検査治療を行います。透視で体内の内視鏡や医療器具の位置を確認したり、造影剤の流れを映したりし、安全に治療検査できるようにします。

▼このほかにもさまざまな処置治療に使用されます

あまり聞きなじみのない装置ですが、検診・検査・治療と各科多目的に使用される装置です。新しくなり以前より広範囲を映し出し、高画質の画像が得られるようになりました。

日々管理に努め、安心して検査・治療を受けてもらえますようスタッフ一同努めてまいります。



FLEXAVISION F4
(島津製作所製)

【宮崎県立宮崎病院からの派遣医師】

串間市民病院では、宮崎県立宮崎病院から糖尿病および消化器内視鏡の医師の派遣を受け、専門的な診療体制を整えています。

具体的には、毎月第1・第3火曜日に糖尿病外来、第2・第4金曜日に内視鏡外来を実施しており、令和8年4月から開始しています。

糖尿病や消化器疾患は、早期発見・早期治療が重要です。日頃の健康管理や定期的な受診を通じた予防医療が、健康維持につながります。

今後も市民の皆さまが安心して質の高い医療を受けられる体制づくりに努めてまいります。



お問い合わせ／串間市民病院 ☎72-1234 (平日 8:30～17:15)